

KASUGAI  
CITY  
PHILHARMONIC  
ORCHESTRA



THE FIRST REGULAR CONCERT JAN. 12. 1992

# 春日井市交響楽団

## 第1回 定期演奏会

1992年1月12日(日) 15:00開演 春日井市民会館  
主催：春日井市交響楽団 共催：春日井市 後援：春日井市教育委員会



創立記念演奏会より (1991.1.13 春日井市総合体育館)

## ごあいさつ

春日井市交響楽団名誉会長  
春日井市長 鶴飼 一郎



本日、春日井市交響楽団第1回定期演奏会が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

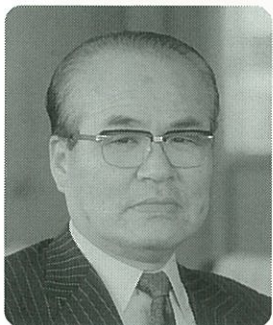
昨年、新春に創立記念演奏会を催されて以来、確かな歩みを進められて、定期演奏会が開催できる程に成長されたわけであります。

春日井市の新しい顔であり、音楽文化のまちとして誇り高いものであります。さらに、交響楽団の運営にたずさわられた関係各位の皆様にとって、この感激と喜びは忘れられないことと思っております。

今日の演奏会で、日頃の研鑽の成果を十分に発揮され、素晴らしい演奏をお聴かせいただけるものと楽しみにしております。

終わりに、春日井市交響楽団のご発展とご活躍をご祈念申し上げまして、お祝いのことばいたします。

春日井市交響楽団会長  
中部大学長 山田 和夫



本日は、ようこそ、春日井市交響楽団第1回定期演奏会においで下さいました。心から歓迎いたしますとともに、みなさまのご支援を深く感謝申し上げます。

私たちの「カポ」も、一昨年の9月に発足以来、昨年1月の「創立記念演奏会」や春日井市庁舎での毎月の「お昼のコンサート」などで、みなさまにお聴きいただく機会も増えてきましたが、なかでも、定期演奏会は、オーケストラにとりまして最大で最高の行事です。その意味で、

本日ここに、多数の市民のみなさまの前で、ベートーヴェンの偉大な作品を中心に据えたプログラムを組み、このように盛大に定期演奏会が催されますことは、私たちにとりまして最大で最高の喜びでもあります。そして、練習に練習を重ねてきた楽団員が満を持して放つ本日の演奏は、きっと、みなさまに感動と満足を与えるものであると確信いたしております。

これも、ご共催下さいました春日井市を始め、ご後援いただきました春日井市教育委員会、また、賛助会員や協賛会員など多くの方のご理解とご支援のおかげです。心からお礼申し上げます。これを機会に、カポもさらに躍進をはかり、春日井市の音楽文化の中心になるよう努力を重ねて参りたいと存じます。どうか、あたたかいご声援をたまわりますようお願いいたします。

## プログラム

ベートーヴェン

ゲーテの悲劇  
「エグモント」への序曲

作品 84

ビゼー

「アルルの女」第2組曲

- I パストラール
- II 間奏曲
- III メヌエット
- IV ファランドール

← 休憩15分 →

ベートーヴェン

交響曲第5番「運命」

ハ短調 作品 67

- I アレグロ コン ブリオ
- II アンダンテ コン モート
- III アレグロ
- IV アレグロ

## PROGRAM

L.v.Beethoven

Overture zum Trauerspiel  
EGMONT

op. 84

G.Bizet

Zweite Orchestersuite  
L' Arlésienne

- I Pastorale
- II Intermezzo
- III Menuet
- IV Farandole

← INTERMISSION →

L.v.Beethoven

SYMPHONIE Nr.5

c-moll op. 67

- I Allegro con brio
- II Andante con moto
- III Allegro
- IV Allegro

## プロフィール

春日井市交響楽団 (KAPO) について



- 1990年9月 アマチュアを中心とする交響楽団として発足。愛称はカポ。
- 1991年1月 創立記念演奏会を春日井市総合体育館で開催。
- 1991年4月から毎月一度、春日井市庁舎ホールで「お昼のコンサート」を開き、多くの市民の好評を得ている。  
練習は、毎週日曜日の午後、春日井市の中部大学女子短大音楽室で行っている。指導は、ヴァイオリンの中川さと子先生、チェロの松崎安里子先生、ホルンの松井茂樹先生にお願いしている。団員数は60名。小学生から教員・医師・会社員まで、色々なメンバーが集まっている。  
愛称であるKAPO(カポ)は、英字名称(Kasugai City Philharmonic Orchestra) から市民に親しめるようにと、頭文字をとって命名された。

指揮者について



### 都築正道 (つづきまさみち)

名古屋市生まれ。名古屋大学文学部美学科卒。文博。指揮を横井園生氏に、作曲を熊谷賢一氏に、声楽を故山田昌弘氏に師事。朝日新聞音楽評担当。国際コンクールの審査員などを務める。  
現在、中部大学女子短大教授。  
春日井市交響楽団 音楽監督

## 音楽文化発信地としてのカポ

— 第1回定期演奏会にあたって —

音楽監督 都築正道

先に、「オーケストラのなかったカラオケ都市春日井がオケアリ都市になる」という話を朝日新聞のシリーズ『音景散策』に書いた。ではいま、春日井市がオケアリでどう変わったか。旗揚げ公演や定期演奏会のために、たくさんの市民が演奏者や聴衆として参加し、市が演奏会場を提供し、大学が事務局と指導者と楽器と練習会場を提供し、産業界が広告を出したり賛助会員になって資金の一部を負担した。文化を生み出すシステムを文明であるとするならば、これこそ、「民」「官」「学」「産」が一体となってオーケストラを生む「春日井文明」を作り上げたことになる。さらにここに、強力な地元のプロの演奏家たちが積極的に参加するならば、オーケストラという技術集団にとってもっとも必要な「専門家」が常時加わることになり、質のいっそうの向上が可能になるだろう。この「民官学産専」という「文明システム」が見事に機能すれば、音楽だけではなく数々の文化活動も次第に総合芸術化されていくだろうし、市民の「心のネットワーク」も大きく広がっていくに違いないのだから、その意味で、市民オケであるカポの本日の定期演奏会が、大成功であっていけない訳はない。

医療法人 王仁会

## 春日井整形外科病院

院長 花村浩克 (春日井市交響楽団々長)

春日井市東野町3丁目15-1 電話 <0568> 51-8987

※看護学生になりたい方、ご連絡下さい。

電気製品専門のオフプライスショップ……………

一流メーカー最新型人気商品1年365日

**卸値で小売!** お電話1本でお届けします。  
価格は店頭かお電話で

※当店の商品価格には消費税3%は含まれておりません。別途消費税分をご負担いただきます。  
お客様のご要望に応じて全メーカー全機種をマックス価格にてお届けします。  
どこよりも安く売り消費者の役に立つこと、それが願い、マックス安売哲学です。

☎0568-82-0508 FAX0568-82-0506

愛知県春日井市瑞穂通り4-62

春日井市役所北

でんきの



# 曲目解説

## ゲーテの悲劇による 「エグモント」への序曲 作品84

ルートヴィヒ・ファン・ベートーヴェン (1770～1827) 作曲

これほど、私たちに、勇気と信念を与えてくれる音楽もないでしょう。この序曲は、ゲーテ (1749～1822) の戯曲『エグモント』の付随音楽10曲の内の一つです。ベートーヴェンが40歳の1810年、ウィーンのブルク劇場で『エグモント』が再演されることになり、そのときゲーテがベートーヴェンに作曲を依頼して出来たものです。完成後、ベートーヴェンはゲーテに宛てて手紙を書きました—「私は、この作品を読んだとたん、その主題に熱中しました。私はあなたを通じてエグモントを再考し、深く感動し、そして音楽を付けました。あなたのご批判をぜひうかがいたいと思います」。しかし、ゲーテからの返事は、ごく儀礼的なものでした。

16世紀のお話。エグモント伯爵は、支配者スペインに対して独立を企てたネーデルランド軍の指揮官です。勇敢に戦った彼でしたが、フィリップ2世から送られた総監アルバ侯に捕らえられ処刑されてしまいます。この序曲は、英雄エグモント伯爵への賛歌で、ベートーヴェンの理想の人間像がすべてここに描き尽くされています。まず、短調の厳かな響きによる葬送行進曲が始まります。木管楽器が、英雄の死を静かに嘆き悲しみます。そして、英雄の行動を回顧するシーンへと進みます。大地の底から、エグモント伯爵を先頭にネーデルランド軍が現れて、快進撃を繰り返します。激しい戦いがつづきますが、ヴァイオリンの悲鳴とともに、ついにエグモント伯爵は倒れます。静かなファンファーレのあと、刑場に消えた英雄を讃える勝利の行進曲が長調で明るく流れ、「ドミソー」の歓呼の声とともに全曲が力強く終わります。

この序曲の特徴は、英雄の生涯を描いた「標題音楽」であること、二拍子と三拍子が複雑に交代する「六拍子」であること、主調が開放弦のないフラット四つの暗い「短調」であること、最後に短調から長調へと劇的に転調する「勝利のシンフォニー」であること—などです。

私たちのオーケストラの第1回定期演奏会の開幕を、ベートーヴェンの理想を実現する『エグモント』序曲で飾ることに、いま、とても満足しているのです。

## 「アルルの女」第2組曲

ジョルジュ・ビゼー (1838～1875) 作曲  
エルネスト・ギロー (1837～1892) 編曲

ビゼーは、ヴォードヴィル座の支配人レオン・カルヴァロ (1825～1897) から、「アルフォンス・ドーデ (1840～1897) が、自作の小説『アルルの女』を戯曲化してくれたので劇音楽を付けて欲しい」と依頼を受けました。ビゼーは、前奏曲や間奏曲や合唱曲を含む27曲を作曲し、劇は1872年10月に初演されました。しかし、公演そのものは失敗に終わり、ビゼーの音楽の素晴らしさだけが多くの人の心に残りました。ビゼーは早速4曲を選び、小編成の原曲から大管弦楽作品に編曲しなおして、その翌月に「組曲」の形で発表しました。大成功でした。

ビゼーが亡くなったあとの1879年、友人の作曲家エルネスト・ギローが、さらに3曲を選び、他の歌劇からの1曲を加えて編んだのがこの『第2組曲』です。ギローは、『アルルの女』の初演ではビゼーと一緒にホルン(オルガン)を弾き、『カルメン』のレシタティーヴォを作曲した仲でした。ほとんどギローの作曲といってもいい『第2組曲』ですが、その成功は、彼のビゼーに対する友情の現れでもありました。

ギロー編曲の特徴は、フランス音楽特有の色彩感の素晴らしさにあります。まず、ビゼーの原曲同様、クラシック音楽には珍しく、当時発明されたばかりのアルト・サクソホーンを巧みに使用して現代的な響きを作っていることです。また、管と弦とのユニゾンも多く用いて重厚な雰囲気を出していること、そして、管楽器の音色がめまぐるしく変わり、全曲にわたって華麗なアンサンブルが楽しめること—などです。

### 第1曲「パストラール」

三部形式 (A-B-A)。おだやかな田園 (パストラール) 風景を現す前奏曲 (A) と陽気な芦刈歌 (B) から出来て

います。これは、原曲の第2幕第1場「カマルグのヴァスカレス湖のほとり」への前奏曲と幕開き冒頭の合唱曲を組み合わせたものです。情熱的で浮気なアルルの女に恋をした村の若者フレデリは、女が恋人の馬番に出した手紙を胸にして湖のほとりの羊小屋に隠れています。それとは知らず、近くでは、母親ローズ・ママイとフレデリを愛する純情な村娘ヴィヴェットが、フレデリを狂気の恋からどうすれば救うことができるだろうか、と話し合っています。そこへ突然現れたフレデリの思いつめた姿に驚きながらも、ヴィヴェットは、「アルルの女のために死んだりしないで。ほかにも美しい女の人はたくさんいますわ」と訴えます。「みんな、お面をかぶって嘘ばかりいう。お前だって、手紙を持ってくる恋人がどこかにいるかも知れないさ」と、嫉妬に狂うフレデリの叫びは悲痛です。

### 第2曲「間奏曲」

これも、A-B-Aの三部形式です。前曲の第1場と第2場「カストゥレの農家の台所」をつなぐ間奏曲。ビゼーの原曲がそのまま使われています。重い石の車を押すように苦しい恋の悩みを激しく訴える第1部 (A)、恋人へのあこがれを美しく歌う中間部 (B)。アルト・サクスの甘い響きは、恋する若者の嘆きそのものです。日本の演歌のように余りにも抒情的過ぎるこの恋のメロディーが、ビゼーによって、宗教曲「神の小羊」(アニユス・デイ) に使われているのは驚きです。

### 第3曲「メヌエット」

この有名なフルートとハーブのためのメヌエットは、ビゼーが1866年に発表して不評をかった歌劇『愛らしいペルトの娘』からとったものです。名手五島憲一さんのフルートと愛らしい木村衣里さんのハーブでお聴き下さい。

### 第4曲「ファランドール」

これも、みなさま良くご存知の名曲です。フランスのプロヴァンス地方の民謡「王様たちの行進」と民俗舞踊「ファランドール」を組み合わせたものです。その組み合わせ方も、前後に足し算のように加えたり、同時にかけ算のように合わせたり、と技巧的には複雑ですが、劇的な盛り上がりを見せて、思わず興奮を覚えます。悲劇的なお話にもかかわらず、最後は長調で明るく陽気に終わるのも、この組曲の魅力です。第3幕(終幕)—聖エロアのお祭の日。村人たちと一緒にフレデリも楽しそうにファランドールを踊っています。夜、フレデリがいつになく陽気なのが気になって、ローズ・ママイは、「母親なんて、地獄にいるようなものさ。今夜は夜明かしで、フレデリを見ていなければ……」と、彼の部屋の前に座ります。遠くから、王様たちの行進が聞こえてきます。フレデリは、その夜、納屋の上から身を投げるのでした。「あれをごらん、恋で死ぬ男もいる」。

## 交響曲第5番『運命』ハ短調 作品67

ルートヴィヒ・ファン・ベートーヴェン (1770～1827) 作曲

この交響曲の最初の音があまりにも断定的なので、人々は、「運命はかくのごとく戸を叩く」と言いました。それで、この交響曲は『運命』と呼ばれるようになりました。「いや、ウィーンでは『家政婦の反乱』と呼んでいるよ。ベートーヴェンが小言ばかりいうのであきれた家政婦が、彼が何をいっても、フフフフーン・フフフフーンと取りあわなかったので、今度はベートーベンが腹を立ててこの曲の主題にしたのさ」とペーゼンドルファーのハルトマンは言っています。もちろん、彼は、『運命』という副題は、ベートーヴェンの死後に、後世の人が勝手につけた仇名に過ぎないと語っているのです。そういえば、この交響曲を『運命』と叫ぶようにしよう、という専門家の強い意見もあります。なぜなら、『運命』という言葉が、この曲を、音楽を離れて、ただ人生論的に解釈してしまう恐れがあるからです。私たちも、この曲から、言葉を越えた「何か」を感じ、理解することができます。その「何か」とは、人知が及ばない「運命」なのではなく、「人間の意志の絶対的な力そのもの」だと思います。ぜひ、「巨大な音のエネルギー」と「緊迫した音の緊張関係」と「カポのパッション」をお聴き下さい。

【交響曲第5番】は、ベートーヴェンが38才の1808年12月に、ウィーン劇場で、彼の指揮によって初演されました。この曲の特徴は、まず、言葉では説明できない「絶対音楽」であることです。「タタタターン」という音型が、プロックのように積み重ねられて、巨大な音楽を構築しています。これを、「主題労作」といいます。また、「主題労作」が繰り返される「開放的循環形式」となっていて、主題音型は楽章ごとにその楽章を統一する「オクターヴ音型」になっています。楽章数は第三楽章と第四楽章がくっついた「にせ三楽章」です。そして、『エグモント』と同様、「苦しみを通して歓喜へ」というマニフェストが音楽化されています。ここでは、ハ短調から調記号のない無垢のハ長調へと進みます。

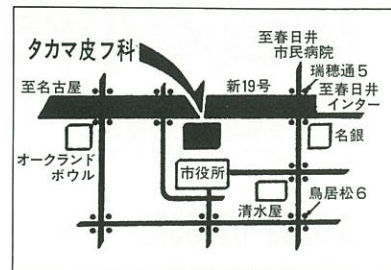
- 第一楽章 快速に元気よく (アレグロ・コン・プリオ) ・ハ短調 ・ 2 / 4 拍子 ・ ソナタ形式
- 第二楽章 ゆっくりと動きをもって (アンダンテ・コン・モート) ・変イ長調 ・ 3 / 8 拍子 ・ 変奏曲形式
- 第三楽章 快速に (アレグロ) ・ハ短調 ・ 3 / 4 拍子 ・ スケルツォ
- 第四楽章 快速に (アレグロ) ・ハ長調 ・ 4 / 4 拍子 ・ ソナタ形式

(都築正道)

# タカマ皮フ科

春日井市 鳥居松 新19号沿

☎(0568) 84-3165



# 山本耳鼻咽喉科

医師 山本節子

春日井市高蔵寺町北3丁目5-10

☎ <0568> 51-7887

# 団員募集

- 本楽団は市民に開かれた交響楽団としてアマチュア・プロを問わず団員の募集をしております。
- 楽器をお持ちの方で活動に積極的に参加できる方をお待ちしております。
- 練習は原則として毎週1回(日曜日)に中部大学女子短期大学(松本町1200)を主たる練習場として、行っております。
- トレーナーによる分奏・合奏の指導等も定期的に行い、演奏会のみではなく普段の練習の充実による団員の音楽性の向上も図っております。

入団希望の方は、175円切手を添えて事務局までお申し込み下さい。  
(電話でのお問い合わせはご遠慮下さい)

## 平成4年度の練習曲目(予定)

- ベートーヴェン 交響曲第3番(英雄)
- ワーグナー リエンチ序曲
- メンデルスゾーン ヴァイオリン協奏曲
- …他

楽器技術の  
エキスパートを養成!!

ピアノ調律技術  
管楽器リペア技術

ピアノ調律技術コース

管楽器リペア技術コース

コンサート

楽器技術者

## 喝采の陰に役者あり

◆音づくり10年の名門校/楽器技術のスペシャリスト養成◆

《愛知県専修学校認可》



**中部楽器技術専門学校**  
CHUBU TECHNICAL ACADEMY OF MUSICAL INSTRUMENTS

〒466 名古屋市昭和区阿由知通三丁目13-6 TEL.<052>741-6788代 FAX.<052>741-6789



技術と品質でおこたえする  
風防ガラスのトップメーカー

**株式会社 フジワラ**

代表取締役社長 松島敏博

本社・六ッ師工場 〒481 愛知県西春日井郡師勝町六ッ師  
TEL<0568>21-2311代 FAX<0568>23-3271  
春日井工場 平成4年秋操業予定  
〒486 春日井市東山町平橋2313-13

皆様の御光来をお待ち申し上げます。

名古屋市中区白壁四ノ八十一  
電話 九三一七七七七

懷石料理  
**櫻明荘**



春は花  
夏はほろもぎす  
秋は月  
冬雪冴へて  
冷しかりけり  
蓮元

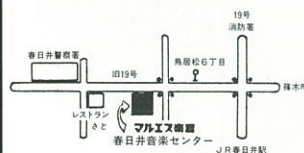


ヤマハピアノ・エレクトーン・楽器の専門店

**マルエス楽器**

●本社 ショールーム 名古屋市中区大曾根一丁目18番18号 ☎<052>911-7355代  
ミュージックセンター 名古屋市中区大曾根交差点西

春日井店



●小牧店  
小牧市新町2上野町バス停西300m  
☎<0568>72-4095  
●春日井店  
春日井市島居松町8丁目バス停前  
☎<0568>81-7579  
●上飯田音楽センター  
市バスターミナル前マルビル4F5F

●高蔵寺店  
春日井市岩成台7丁目2番地3  
☎<0568>91-1596  
●サンマルシェセンター  
サンマルシェ文化センター3F  
☎<0568>92-1908  
●中央台音楽センター  
石尾台南バス停西100m  
☎<0568>91-2680

高蔵寺店

